

日本の大学進学を目指す
アジア太平洋出身の留学生を支援します



公益財団法人

千本財団

Frances and Sachio Semmoto
Foundation

財団の概要

■ 目的

千本財団は、大学就学を目指すアジア太平洋各国の成績優秀な学生生徒で、経済的理由により修学困難な者に対して、返済義務の無い奨学金を給付することで、出身国のリーダーとなり国家の発展及び日本とアジア太平洋各国の相互理解の深化に貢献する人材を育成することを目的とする。

■ 事業内容

- ・ アジア太平洋各国の学生生徒に対する奨学金の給付
- ・ 奨学金を受ける学生生徒の指導及び育成
- ・ 奨学金を受けた者同士の交流の支援
- ・ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 代表理事挨拶



日本は、先の大戦や3.11東日本大震災からの復興を通し、世界各国の人々から、愛と寛容と勇気をもらいました。私は海外留学など一般学生にとって夢の時代であった1960年代に、フルブライト奨学金を得て米国に留学し、グローバルな視点での社会貢献を尊ぶ精神と、その根幹である米国のオープンな価値観に触れ、衝撃を受けました。その時の出会いや経験が、その後の私の人生観の形成に重要な役割を果たし、第二電電（現KDDI）をはじめ、数々の企業の創業に繋がりました。

私の留学から半世紀が経過し、世界は想像もしない変化をしつつあります。しかし、グローバル化と多様化が混然と進む現在においてこそ、世界の人々に支えられて発展を遂げた日本が、人類の共通の価値観であるべき愛と寛容の精神に基づき、世界を担う人材の育成に貢献すべきであると私は考えます。その結果として、アジアの若者が、我が国の文化の根源である和と懐の深さについて理解を深めてくれたらこれにまさる喜びはありません。

私は、この理念を実現すべく、とりわけ経済的な理由で高度教育を受ける機会が少なく、我が国と関係の深いアジア太平洋各国の若者を対象に、返還義務のない奨学金を支給することを目的とした「千本財団」（英名：Frances & Sachio Semmoto Foundation）を設立致しました。

代表理事 千本 倅生

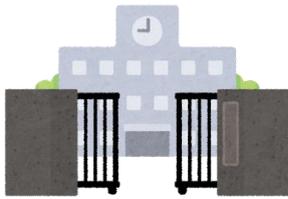
留学生への奨学金給付および育成事業のご案内

千本財団は、日本の4年制大学の進学を目指すアジア太平洋出身の留学生を日本語学校在籍時から支援します。

■千本奨学金制度の特徴（給付内容と期間）

- ①大学受験に集中する日本語学校在籍時の6カ月間支援します。

日本語学校



- 給付内容：月額5万円
- 給付期間：10月～3月（6カ月間）



- ②千本奨学生の出願時に約束した志望大学*に合格し進学する場合、原則として最長4年間支援します。

日本国内の4年制大学



- 給付内容：月額8万円
- 給付期間：4年間
- * 毎年3月に継続審査有り

*当奨学金制度では、奨学生出願時に志望大学（学部・学科含む）を3校まで指定して頂きます。目標通り、指定した志望大学の3校いずれかに合格・進学する場合のみ大学進学後に奨学金が継続されます。

■千本奨学生の応募資格

（1）国籍とビザ

現在、勉学のための在留資格「留学」で日本に在留している者で下記の国籍の者

ラオス人民民主共和国	カンボジア王国	ミャンマー連邦共和国
インドネシア共和国	ベトナム社会主義共和国	フィリピン共和国
タイ王国	マレーシア	（アメリカ合衆国*）

* 所得制限有 家計所得を年間50,000ドル以下とする

(2) 在籍状況等

応募年の翌年度4月から日本国内の4年制大学の学部正規課程の在籍を目指している者、又は国立高等専門学校への編入を目指している者で、下記のいずれかの条件を満たす日本語教育機関に在籍し、出願年6月受験の日本留学試験の成績（日本語記述試験を除く3科目の合計点数）が500点以上の者。

【対象となる日本語教育機関の条件】

- ①文部科学大臣による日本国内の大学入学の為の準備教育課程の指定を受けている。または
- ②（一財）日本語教育振興協会の維持会員である。

(3) 学業・健康

学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する関心を持ち、また目標に向かって真摯に努力する姿勢を兼ね備え、心身ともに留學生活に耐えうる健全な者。

(4) 経済状況

経済的な理由で留學費用の全額支弁が困難である者

(5) 年齢

每事業年度4月1日時点で26歳未満の者

(6) 他の機関からの奨学金との二重受取の禁止

- 他の機関からの奨学金（以下「他奨学金」と表記）および奨学金と同種の、個人に与えられる補助金などと同時に受けることはできない。ただし、地方自治体による学習奨励金（在住の留學生全員が受給の対象となるもの）、学術上の貢献に対する一時的な褒賞金、および授業料免除（減額）は他奨学金とみなさない。
- 申込中に他奨学金を受けていても、この法人の奨学金に申し込むことができる。ただし、当奨学金と他奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。
- 当奨学金と同時に他奨学金を受給した場合には、この法人の奨學生としての資格が取り消され、他奨学金との重複期間の奨学金を全額返済しなければならない。

■千本奨学生の出願から採用決定まで

(1) 年間スケジュール

6月	日本留学試験（EJU）を3科目受験
8月	最終週：締切
9月	中旬：書類審査の結果通知（書類合格定員：9名）
10月	上旬：都内にて選考会（面接選考）の開催 下旬：採用者および補欠合格者の通知 （採用定員：7名）
11月	上旬：奨学生認定授与式の開催
3月	● 志望大学に合格すれば奨学生として継続採用される ● 志望大学に合格できない者がいて欠員が生じた場合、志望校に合格した補欠合格者が繰上って奨学生として採用される

*当奨学金制度では、日本語学校在籍生からのみ新規奨学生の応募・選考を行います。
新規の大学生（留学生）からの応募は受け付けておりません。

(2) 応募方法

申請者個人による当財団への申込書の直接送付、持参は受けません。
学校の推薦を得て、学校担当者が下記（3）の①～⑦の出願書類等の記載内容を確認し、書類をとりまとめて当財団事務局に郵送します。

(3) 出願書類（学校担当者に財団から毎年7月頃に直接送付致します）

- ① 顔画像データ * 6 カ月以内に撮影したもの。上半身正面像4.0 cm × 3.0 cm。
- ② 奨学生願書（書式A）
- ③ 小論文（書式B）
- ④ 学校の指導教員等からの推薦書（書式C） *指導教員の自筆の署名が必要。要厳封。
- ⑤ 日本語学校の直近月までの出席・成績証明書
- ⑥ 在留カードのコピー裏表（被推薦者本人を証明するもの）
- ⑦ **日本留学試験（EJU）の応募年6月の成績通知書のコピー**

***日本語、数学、理科または総合科目の3科目を受験してください。
2科目受験の場合は、選考の対象になりません。**

(4) 出願・選考の注意点

- ① 対象校1校につき、推薦できる（応募できる）奨学生候補者は**2名**までです。
- ② 同じ学校から複数応募する場合、推薦の順位を別途指定様式にご申告ください。
- ③ 書類選考の結果通知、選考会（面接選考）の結果は学校担当者に通知します。
- ④ その他、ご質問・ご不明点がある場合は当財団事務局までご連絡下さい。

■採用実績について

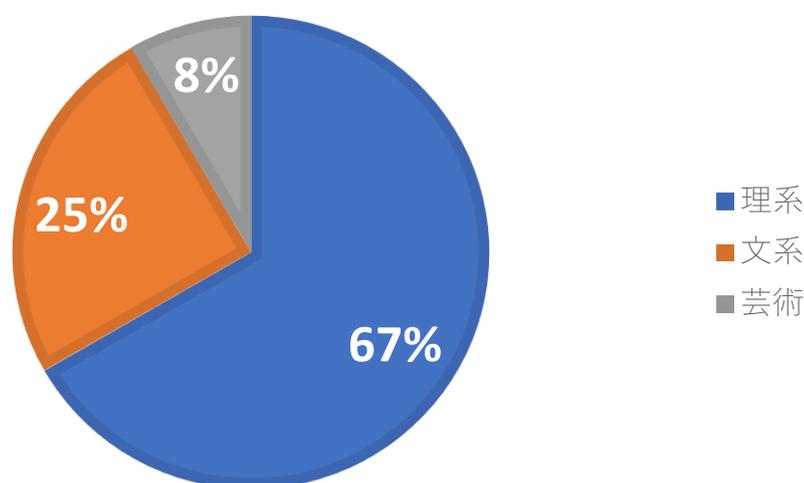
(1) 過去3年間の採用実績

	2018	2019	2020
応募総数	9	19	19
新規採用者数	3	4	5
継続奨学生数	0	3	7
奨学生合計	3	7	12

(2) 日本留学試験の奨学生平均成績：577点（*日本語記述試験を除く3科目）

- 2018年（1期生）：588点（2018年11月受験）
- 2019年（2期生）：596点（2019年6月受験）
- 2020年（3期生）：546点（2020年11月受験）

(3) 奨学生の進学分野（計12名）



(4) 国籍別の奨学生数

インドネシア	4名
ベトナム	3名
マレーシア	5名

(5) 奨学生の進学先（あいうえお順）

茨城大学（工学部物質科学工学科）、神奈川県（理学部数理・物理学科）
京都精華大学（マンガ学部アニメーション学科）
東京農業大学（生命科学部分子生命化学科）、東京理科大学（工学部機械工学科）、
東京理科大学（理学部第一部化学科）、東洋大学（経済学部国際経済学科）、
同志社大学（商学部商学科）、法政大学（生命科学部応用植物科学科）、
明治大学（経営学部経営学科）、明治大学（理工学部応用化学科）、
山梨大学（工学部コンピュータ理工学科）

(6) 奨学生の出身校一覧（あいうえお順）

アジア学生文化協会	3名
淑徳日本語学校	1名
JET日本語学校	2名
千駄ヶ谷日本語学校	1名
東京ギャラクシー日本語学校	1名
日本学生支援機構東京日本語教育センター	2名
メロス言語学院	2名



2021年3月大学合格祝賀会にて

■評議員（3名以上6名以内）

評議員	川口 順子	武蔵野大学客員教授、元外務大臣、元環境大臣
評議員	藤崎 一郎	一般社団法人日米協会会長、元在米日本大使
評議員	大角 幸枝	日本工芸会正会員 重要無形文化財保持者（鍛金）
評議員	飯田 さやか	株式会社ベルデザイン CFO
評議員	千本 祥子	株式会社フランシス 代表取締役

■役員（理事：3名以上6名以内、監事：2名以内）

代表理事	千本 倖生	第二電電株式会社（現KDDI）、イー・アクセス株式会社、イー・モバイル株式会社（現Y!mobile）共同創業者 株式会社レノバ 取締役会長
理事	小長 啓一	一般財団法人 産業人材研修センター 理事長
理事	橋本 徹	みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
理事	日比谷 潤子	学校法人 聖心女子学院 常務理事
理事	小林 英夫	多摩大学 経営情報学部 経営情報学科 教授
監事	中村 亨	日本クレアス税理士法人代表 公認会計士 税理士

■沿革

2017年9月	一般財団法人千本財団 設立
2018年10月	第1期千本奨学生採用 留学生の奨学金給付および育成事業の開始
2019年2月	公益財団法人に認定 名称を公益財団法人千本財団に改める

■所在地・連絡先等

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン18F

TEL：03-5656-5297 FAX：03-3516-6261

URL: <http://semmoto.or.jp/>

当財団のご訪問を希望される方は、上記ホームページのお問い合わせフォームより事前にご申請頂きたいようお願い申し上げます。



公益財団法人
千本財団